



TOKYO KAIKAN



株式会社東京會館

第126期 報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

証券コード：9701

ごあいさつ



TOKYO KAIKAN
BUSINESS
REPORT

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
- 2 当期の営業の概況
- 3・4 事業のご紹介
- 5・6 TOKYO KAIKAN GUIDANCE
- 7 財務諸表
- 8 会社データ・株式データ
- 9 株主ご優待のご案内
- 10 東京會館オンラインショップのご案内

表紙写真：本館シャンデリア



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。


さて、当社は、令和2年3月31日をもって第126期（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに当期の営業の概況および決算の内容につきましてご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

令和2年6月

代表取締役社長

渡辺 訓章



当期の営業の概況

当事業年度におけるわが国経済は、海外経済の減速から外需は弱いものの、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善により景気回復基調が継続するなかで第3四半期まで推移しました。しかしながら、第4四半期に新型コロナウイルス感染症問題が発生し、経済への影響が日々増大するなかで先行き不透明な状況が継続しております。

このような経済環境の中、当社は、本館のリオープンを機に当事業年度を初年度とした3カ年の中期経営計画「Tokyo Kaikan vision for 2021」を策定し、その基本方針である「稼ぐ力」の最大化、既存営業店の売上維持・拡大、事業オペレーションの更なる効率化に取り組んでまいりました。その結果、当第3四半期末までの売上高は、本館が稼働したことにより大幅に増加し、前年同期比121.4%増の9,256百万円となりました。しかしながら、第4四半期の後半に新型コロナウイルス感染症の拡大懸念から新規の需要が急速に縮小し、3月後半には感染拡大抑止のための外出自粛要請が行政から行われたのを機に一段の需要が減少したため、当事業年度の売上高は、前期比62.9%増の11,504百万円となりました。

経費面では、継続的な原価管理の徹底に加え、調理・接客における効率的な現場オペレーションの確立による変動人件費率の圧縮など、コスト管理の高度化を推進してまいりました。その結果、新型コロナウイルス感染症問題による需要減があったものの、新本館開業の初年度において、営業利益は148百万円（前期は2,826百万円の損失）、経常利益は69百万円（前期は2,835百万円の損失）となり、それぞれ前期から大幅に改善しました。また、当期純利益は108百万円（前期比1,915百万円減）となりました。なお、当期純利益減少の主要因は、前期において多額の固定資産売却益を特別利益に計上したことによるものです。

事業のご紹介

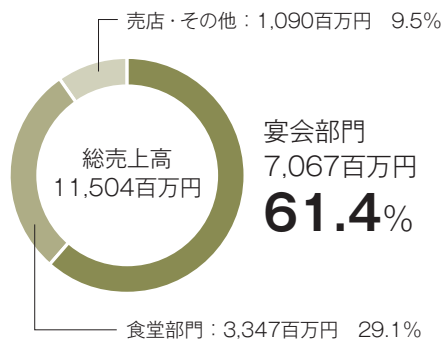
宴会部門

宴会部門につきましては、一般宴会は、新本館に新設した丸の内地区最大級の大会場を最大限に生かして、大小様々な規模の新規需要の取り込みに注力しました。既存営業所においても、各営業所の位置づけを改めて明確にし、各々の提供価値を創出し、顧客基盤の維持拡大に努めました。

婚礼は、皇居外苑と丸の内を一望できる新本館のチャペルや当社が誇る料理など「新しさと伝統の融合」を訴求すべく、各種媒体やウエディングサロンでのプロモーション活動に努めるとともに、多くの需要にお応えできる体制を整えてまいりました。

これらの結果、一般宴会、婚礼合計の宴会部門売上高は7,067百万円（前期比102.4%増）となりました。

宴会部門売上高



食堂部門

食堂部門につきましては、伝統の上質な料理・サービスを継承しながらも新たな時代に合わせて生まれ変わった7店舗を新本館に擁し、各店舗の特性に合わせたメニューを展開してまいりました。また、既存営業所各レストランにおいても、店舗の特色を生かした季節感のある料理の提供、新メニューの開発、各種フェアを企画し、集客に努めました。

この結果、売上高は3,347百万円（前期比19.2%増）となりました。



売店・その他

売店・その他の営業につきましては、新本館にオープンしたパストリーショップで新商品の投入を積極的に行いました。また、食品部門では、季節限定商品の開発、百貨店・商業施設における催事への積極的な出店に努めるとともに、オンライン販売でも訴求力を向上させました。さらに、丸の内二重橋ビルディング内の賃貸オフィスからの賃料収入が計上された結果、売上高は1,090百万円（前期比42.9%増）となりました。



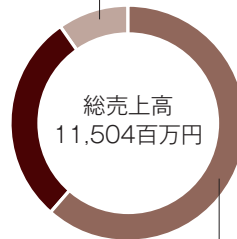
食堂部門売上高

売店・その他：1,090百万円 9.5%

食堂部門
3,347百万円
29.1%

総売上高
11,504百万円

宴会部門：7,067百万円 61.4%





料理の魅力

東京會館の匠たち

かけがえのない味をお客様へ



「東京會館といえば料理」と評されるように、

開場以来のかけがえのない味を継承し、

磨きかける努力を重ねています。

お客様に最高の料理を提供し、

幸福の記憶をお持ち帰りいただくためには、

いっさいの手間と時間を惜しみません。

それは、「どんなに大きな宴会でも、

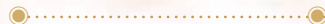
お迎えするお客様は一人ひとり」との思いゆえです。



田中 徳三郎



中川 三郎



初代調理長 田中徳三郎は、パリの老舗レストラン・プルニエ、ホテルリッツで修業を積み、帰国後初代本館に日本初の鮮魚介料理店「プルニエ」を開設。現在に受け継がれる東京會館の味の礎を作ったばかりか、日本のフランス料理界のお手本となりました。シェフの代表的な料理“ソールボンファム”は、現在も多くのファンに愛される東京會館の看板料理です。東京五輪が開催された昭和39年。五輪を機に東京を訪れる人々に本物のフレンチを広めたいと考えた仏政府により、東京會館内で営業された「イル・ド・フランス」では、料理の魔術師レイモン・オリヴェと、後に「現代の名工」として表彰された中川三郎をはじめ東京會館のシェフが交流し、生粋のパリの調理法・サービスを体得しました。



舌平目の洋酒蒸 ボンファム



👑 紅谷 清三



👑 小松崎 剛



👑 鈴木 直登

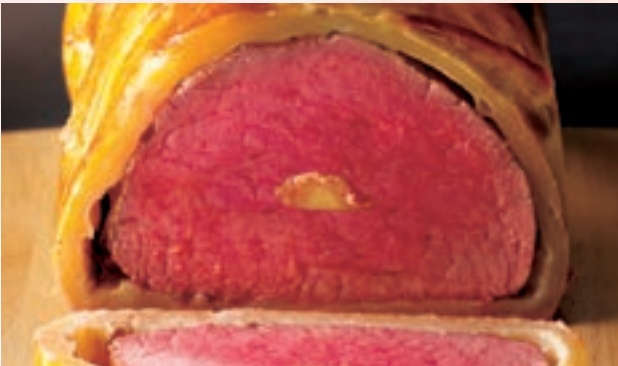


👑 外山 勇雄

東京會館は代々にわたり「現代の名工」を輩出しております。日本にフランス料理を定着させた中川三郎、パーティ料理の基礎を確立させた紅谷清三、日本料理の重鎮 小松崎剛。この輝かしい3巨頭の横に、平成25年、和食総調理長 鈴木直登が、令和元年に外山勇雄がその名を並べ、「現代の名工」の受章は東京會館で働く料理人たちが目指す目標となりました。

和食総調理長 鈴木直登は、令和元年秋の褒章において「黄綬褒章」を受章しました。書籍の執筆や和食とその文化に関する料理教室の開催なども行っており、平成25年の「現代の名工」に続き、これらの業績が認められ受章に至りました。

外山勇雄は、厚生労働省より令和元年度「卓越した技能章（現代の名工）」として表彰、令和2年にフランス大使館より「農事功労章シュヴァリエ」を受章しました。東京會館を代表するかけがえのない味を継承し、お客様に提供し続けるとともに、その技術を次世代に伝えるべく若手育成にも力を注いでおります。



プリンスアルベール



マロンシャンテリー

財務諸表



貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第126期	第125期
	令和2年3月31日現在	平成31年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	4,381	6,335
固定資産	21,010	21,991
有形固定資産	17,474	18,259
無形固定資産	60	69
投資その他の資産	3,475	3,662
資産合計	25,391	28,327
(負債の部)		
流動負債	2,531	14,077
固定負債	13,601	4,807
負債合計	16,132	18,884
(純資産の部)		
株主資本	8,753	8,679
資本金	3,700	3,700
資本剰余金	2,883	2,883
利益剰余金	2,612	2,537
自己株式	△ 441	△ 441
評価・換算差額等	504	763
その他有価証券評価差額金	504	763
純資産合計	9,258	9,442
負債・純資産合計	25,391	28,327

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第126期	第125期
	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで	平成30年4月1日から平成31年3月31日まで
売上高	11,504	7,062
売上原価	10,466	6,442
売上総利益	1,037	620
販売費及び一般管理費	889	3,447
営業利益又は営業損失 (△)	148	△ 2,826
営業外収益	64	71
営業外費用	143	80
経常利益又は経常損失 (△)	69	△ 2,835
特別利益	—	6,196
特別損失	—	378
税引前当期純利益	69	2,982
法人税、住民税及び事業税	21	13
法人税等調整額	△ 59	945
当期純利益	108	2,023

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第126期	第125期
	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで	平成30年4月1日から平成31年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,914	△ 3,640
投資活動によるキャッシュ・フロー	807	△ 7,263
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,458	10,656
現金及び現金同等物の増減額	264	△ 246
現金及び現金同等物の期首残高	1,454	1,701
現金及び現金同等物の期末残高	1,719	1,454

株主資本等変動計算書 (平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					株主資本合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成31年4月1日残高	3,700	2,883	2,537	△ 441	8,679	763	9,442	
事業年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 33		△ 33		△ 33	
当期純利益			108		108		108	
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0	
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額 (純額)						△ 259	△ 259	
事業年度中の変動額合計	—	—	74	△ 0	74	△ 259	△ 184	
令和2年3月31日残高	3,700	2,883	2,612	△ 441	8,753	504	9,258	

会社データ・株式データ (令和2年3月31日現在)

会社の概要

設立年月日	大正9年4月24日
資本金	37億円
本社所在地	東京都千代田区丸の内三丁目2番1号
事業内容	宴会場・結婚式場・レストランの経営、 洋菓子・パン等の食品製造販売
従業員数	533名

株式の状況

発行可能株式総数	8,900,000株
発行済株式の総数	3,463,943株
株主数	4,500名

役員 (令和2年6月26日現在)

代表取締役社長	渡辺訓章
代表取締役専務	鈴木輝伯
常務取締役	星野昌宏
取締役	山口健太郎
取締役	吉田寛
取締役	斉藤哲二
取締役	蛭原望
社外取締役	島谷能成
社外取締役	合場直人
常勤監査役	池内潤一郎
社外監査役	畔柳信雄
社外監査役	相場康則

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
サントリーホールディングス株式会社	313	9.37
日本生命保険相互会社	172	5.16
東京會館取引先持株会	167	5.00
株式会社三菱UFJ銀行	165	4.95
三菱地所株式会社	131	3.93
三信株式会社	129	3.88
株式会社みずほ銀行	120	3.60
明治安田生命保険相互会社	105	3.16
富国生命保険相互会社	100	3.02
阪急阪神ホールディングス株式会社	100	3.00

(注) 1. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
2. 当社は、自己株式123千株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
証券コード	9701
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) [受付時間] 9:00~17:00(土・日・祝日、年末年始除く)
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.kaikan.co.jp (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(株式に関する各種お手続き)
1. 株式に関する各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にて承りますのでお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行の全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主ご優待のご案内

お食事ご優待券

- ・3月末日現在の株主様に対し、6月下旬に贈呈いたします。
- ・有効期間は、贈呈日の翌年8月末日までといたします。

〈贈呈基準〉

ご所有株数	贈呈枚数	贈呈方法	有効期間
100株以上	1枚	3月末日現在の株主様に対し 6月下旬贈呈	翌年8月末日迄有効
300株以上	2枚		
500株以上	4枚		
1,000株以上	6枚		
5,000株以上	8枚		

〈ご利用対象〉

- ・**浜松町東京會館**（世界貿易センタービル 38 階・39 階）
☎ (03) 3435-2611 (代)
レインボー [フランス料理]
離宮飯店 [中国料理]
- ・**如水會館**（一ツ橋・如水會館 1 階）
☎ (03) 3261-1101 (代)
ジュピター [フランス料理]
- ・**大手町 LEVEL XXI**（アーバンネット大手町ビル 21 階）
☎ (03) 5255-1515 (代)
ペラージュ [フランス料理]
東苑 [中国上海料理]
- ・**銀座スカイラウンジ**（有楽町・東京交通會館 15 階）
☎ (03) 3212-2775
[西洋料理]

有効期間を終了いたしました「ご優待券」はご利用いただけません。「ご優待券」は、券面記載の有効期間内にご使用くださいますようお願いいたします。
※令和2年8月末日迄有効の「ご優待券」につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、有効期間を令和2年11月末日迄延長いたします。

ご優待割引券

- ・9月末日現在の株主様に対し、11月下旬に発行いたします。
- ・有効期間は、発行日の翌年12月末日までといたします。

〈発行基準〉

ご所有株数	発行枚数	発行方法	有効期間
100株以上	4枚	9月末日現在の株主様に対し 11月下旬発行	翌年12月末日迄有効
300株以上	8枚		
500株以上	12枚		
1,000株以上	16枚		
5,000株以上	20枚		

〈割引率〉

- ・**レストラン** 飲食：10%割引
（各店で一部、割引対象外メニューもございます）
- ・**ご宴会** 室料：50%割引
（法人・団体のご利用は、対象外とさせていただきます）
- ・**ご婚礼** 飲食：8%割引
（東京會館本館、如水會館に直接ご予約いただいた場合に限りさせていただきます）
- ・**ギフト商品** 洋菓子・レトルト食品・通販商品など：10%割引
（百貨店を除く主な営業所）

『株主様特別ご優待バイキング』について

例年開催しております『株主様特別ご優待バイキング』は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本年の開催日程は未定となっております。
開催日程や詳細につきましては、決まり次第ご案内申し上げます。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

トピックス

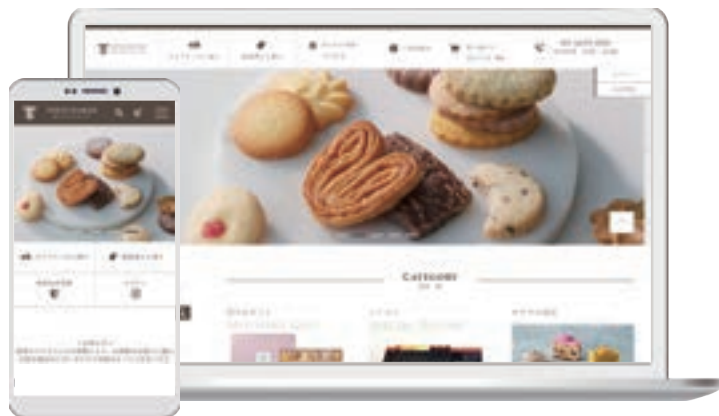
東京會館オンラインショップのご案内

東京會館の商品が、ご自宅にいながらにしてご注文いただける便利なオンラインショップをご存知ですか。

接待の手土産でも表彰されたプティガトー・プティフルなどのお菓子をはじめ、本格レトルトカレー、季節商品などを豊富に取り揃えております。

ご家庭でお楽しみいただくことはもちろん、地方発送も承っておりますので、季節の贈り物、帰省のお土産などにもぜひご利用ください。

ご用途に合わせたお慶斗がけにも対応しております。



プティガトー




プティフル



本格レトルトカレー



季節商品

 ご注文はこちらから



東京會館オンラインショップ



TEL: 03-3699-0111 (受付時間 9:00 ~ 18:00) 東京會館 食品事業部

<http://www.tokyokaikan-shop.jp/>



◆本館 03-3215-2111(代)

千代田区丸の内3-2-1
バンケット/「ローズ」ほか
レストラン/ブルニエ、ロッシニ、ロッシニテラス、八千代、
會、メインバー、ユニオンクラブ
ショップ/スイーツ&ギフト

◆浜松町東京會館 03-3435-2611(代)

港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル38階・39階
バンケット/「チェリールーム」ほか
レストラン/レインボー、離宮飯店、バー 39

◆如水會館 03-3261-1101(代)

千代田区一ツ橋2-1-1
バンケット/「スターホール」ほか
レストラン/ジュビター、マーキュリー、橋畔亭

◆大手町^{レベル 21}LEVEL XXI 03-5255-1515(代)

千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル21階
バンケット/「スタールーム」ほか
レストラン/ペラージュ、東苑

◆日本橋三越本店「特別食堂」 03-3274-8495

中央区日本橋室町1-4-1 日本橋三越本店本館7階
レストラン、喫茶
バンケット/「不二の間」ほか

◆銀座スカイラウンジ 03-3212-2775

千代田区有楽町2-10-1 東京交通會館15階
レストラン、喫茶

東京會館

www.kaikan.co.jp